

定例記者発表次第

日時／令和4年1月21日（金）

10時30分～

会場／矢板市役所 第一委員会室

1 開会

2 記者発表案件

- (1) 令和3年度ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の寄附申込み状況について（総合政策課）
- (2) 令和4年度矢板市当初予算 主な新規事業について（総務課）
- (3) 小中学生GIGAスクールアンケート結果について（教育総務課）

3 資料提供

- (1) 確定申告会場（泉・片岡公民館）でのマイナンバーカード出張申請受付について（市民課）
- (2) （公財）矢板市育英会奨学生の募集について（教育総務課）
- (3) いちご狩り体験の実施について（教育総務課）
- (4) 「いちご一会とちぎ国体開催記念イベント「ガールズウォーキングサッカー体験会」 in リアンビレッジ矢板」の開催について（国体・スポーツ局）

4 質疑応答

5 その他

6 閉会



予算会見予定 2月10日（木）10時00分～ 第一委員会室

記者発表予定 2月10日（木）予算会見終了後 第一委員会室

記者発表資料

令和4年 1月21日（金）発表・提供

件名	令和3年度ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の寄附申込み状況について
----	------------------------------------

(説明文)

ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の申込み状況について公表いたします。

1 個人版ふるさと納税の寄附受付状況（各年度12月31日現在）

年度	申込件数	寄附申込金額（累計）
令和2年度	3,472件	97,153千円
令和3年度	4,538件	217,737千円
対前年比	+1,066件 (131%)	+120,584千円 (224%)

(増加の主な要因)

- ・寄附の受入れ窓口を拡大したこと（楽天ふるさと納税の開設）
- ・個人から1億円のふるさと納税の寄附申込みがあったこと

2 企業版ふるさと納税の寄附受付状況（令和4年1月20日現在）

年度	申込件数	寄附申込金額（累計）
令和3年度	3件	60,100千円

- ・令和3年4月1日から地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を開始
- ・内閣府や矢板市ホームページ等において周知
- ・寄附金については、企業からの申出に基づき活用

※提供資料の有無：有（別添のとおり）・無

担当課・担当名	総合政策課政策企画担当		
担当者名	大谷 貴宏		
電話番号	43-1112	内線電話番号	222

ふるさと納税寄附金額等比較表 (R2-R3)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2	件数	540	288	139	206	214	317	622	1,024	3,472	470	359	440	8,091
	金額(円)	7,404,000	4,135,000	2,312,000	2,740,000	2,953,000	4,143,000	8,406,500	15,489,500	49,570,000	6,203,000	5,297,000	6,105,000	114,758,000
	累計額(円)	7,404,000	11,539,000	13,851,000	16,591,000	19,544,000	23,687,000	32,093,500	47,583,000	97,153,000	103,356,000	108,653,000	114,758,000	-
R3	件数	245	189	153	216	235	480	710	1,249	4,538	0	0	0	8,015
	金額(円)	3,529,000	2,786,000	2,032,000	3,097,500	3,481,500	6,592,000	10,809,000	19,022,000	166,388,000	0	0	0	217,737,000
	累計額(円)	3,529,000	6,315,000	8,347,000	11,444,500	14,926,000	21,518,000	32,327,000	51,349,000	217,737,000	217,737,000	217,737,000	217,737,000	-
前年度比 (%)	件数	45%	66%	110%	105%	110%	151%	114%	122%	131%	0%	0%	0%	99%
	金額	48%	67%	88%	113%	118%	159%	129%	123%	336%	0%	0%	0%	190%
	累計額	48%	55%	60%	69%	76%	91%	101%	108%	224%	211%	200%	190%	-

※GCF除く

サイト名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ふるさと チョイス	件数	131	86	70	72	96	175	232	431	1,393				2,686
	金額(円)	2,056,000	1,298,000	894,000	1,124,000	1,568,500	2,420,000	3,659,500	6,730,000	22,830,500				42,580,500
ふるなび	件数	84	61	63	100	61	115	216	377	1,645				2,722
	金額(円)	1,079,000	886,000	902,000	1,449,500	896,000	1,770,000	3,130,500	5,457,500	21,864,500				37,435,000
プレミアム	件数	26	31	16	40	39	101	100	84	491				928
	金額(円)	284,000	378,000	169,000	468,000	422,000	1,096,500	1,140,000	992,500	5,938,000				10,888,000
三越伊勢丹	件数	4	9	4	3	0	12	40	47	172				291
	金額(円)	110,000	184,000	67,000	46,000	0	271,000	1,044,000	1,327,000	4,608,000				7,657,000
楽天	件数					37	76	121	308	835				1,377
	金額(円)					553,000	1,014,500	1,825,000	4,418,000	11,125,000				18,935,500
その他 (窓口等)	件数	0	2	0	1	2	1	1	2	2				11
	金額(円)	0	40,000	0	10,000	42,000	20,000	10,000	97,000	100,022,000				100,241,000
合計	件数	245	189	153	216	235	480	710	1,249	4,538	0	0	0	8,015
	金額(円)	3,529,000	2,786,000	2,032,000	3,097,500	3,481,500	6,592,000	10,809,000	19,022,000	166,388,000	0	0	0	217,737,000

記者発表資料

令和4年 1月 21日（金）発表・提供

件名	令和4年度矢板市当初予算 主な新規事業について		
(説明文)	令和4年度当初予算における、主な新規事業について速報します。		
1 目的（趣旨）	令和4年度当初予算の主な新規事業について速報する。		
2 内容	別紙のとおり		
※提供資料の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有（別添のとおり）・無			
担当課・グループ	総務課財政担当		
担当者名	松本 一裕		
電話番号	0287-43-1113	内線電話番号	252

令和4年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

1	地域再エネ導入計画策定支援及び地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）策定業務委託	12,000
<p>【目的】 国の2050カーボンニュートラルを見据え、地域の脱炭素化を目指していくため、地域再エネ導入目標などの市内における環境施策に係る実行計画を策定する。</p> <p>【事業内容】 ・環境省の補助事業を活用し、地域における再エネ導入計画を策定する。 また、当該計画策定にあたって作成する資料を活用し、地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）を策定する。 委託費：12,000千円（うち補助対象経費10,000千円 補助率3/4）</p>		
2	デジタル戦略管理運営事業	7,000
<p>【目的】 本市の自治体DXを推進するため、新たな事業展開や、マイナンバーの活用促進を行う。また、地域活性化起業人の制度を活用する。</p> <p>【事業内容】 ・地域活性化起業人活用 ・オンラインお悩み相談室（市職員） ・地域の課題を把握できる仕組みの構築ほか</p>		

令和4年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

3	農業収入保険加入補助	7,000
<p>【目的】 昨今の異常気象や自然災害等の頻発による収入減少を補てんする農業収入保険への加入をさらに促進し、農業の経営安定を図る。</p> <p>【事業内容】 ・農業収入保険加入補助 全国農業共済組合連合会が運営する収入保険の制度は、加入初年度の掛金が高額で2年度目以降は減少する仕組みとなっているので、加入促進のため、加入初年度の費用の一部を支援する。</p>		
4	地域おこし協力隊活用による林業振興	16,500
<p>【目的】 地域おこし協力隊を活用し、市内森林の整備と保全を推進するとともに、地域林政アドバイザーを配置し、地域おこし協力隊員の資質・技術向上を図る。</p> <p>【事業内容】 ・市有林や市管理林道、森林経営管理制度に基づく市が受託する森林等の管理活動、その他林業振興全般に係る業務 ・森林技術指導者及び矢板市林業・木材産業成長化推進協議会の構成団体等によるスキルアップ研修 ・地域からの要請に基づく農山村振興関連の活動への支援 ・農山村での事業継承の可能性調査</p>		

令和4年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

5	アフターコロナを見据えた販路拡大	3,000
<p>【目的】 アフターコロナを見据え、主に販路拡大を重点に置いて矢板市の魅力を県内外に発信する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やいた産業未来会議お土産品開発補助 (500千円) やいた産業未来会議で検討した内容を元に、矢板市の新たなお土産品を開発するための費用の一部を補助する。 ・ 販路開拓ホームページサイト構築支援 (1,000千円) 市内製造業者で組織する団体が、会員の販路開拓のためにホームページを構築した際の経費の一部を補助する。 ・ 海外展開PRホームページサイト構築 (1,500千円) 海外展開に向けたPR用ホームページを構築し、外資系企業の誘致やインバウンドなど、地域経済の活性化を目指す。 		
6	英語講座及び外国とのオンライン交流会、ALT等と英語で遊ぶイベント	1,500
<p>【目的】 中学生海外派遣事業の代替事業として実施している英語検定学習講座を拡大し、学力アップ対策・英会話レッスン・外国とのオンライン交流会を行う。小学生には、「英語と遊ぶイベント」を開催し、ネイティブな英語に触れ楽しく学ぶとともに、異文化の理解を深めグローバルな感覚を身に着ける。</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語講座 (ALTと日本人スタッフ) ・ 外国とのオンライン交流会 ・ 英語で遊ぶイベント (小学生対象) 		

令和4年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

7	東小学校長寿命化改修工事基本計画策定業務委託	9,600
<p>【目的】 適正規模・適正配置計画に基づく統合準備に伴い、基幹校である矢板市立東小学校の改修工事を行う。</p> <p>【主な事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・東小学校長寿命化改修工事基本計画策定業務委託 (今後の予定) ・R5：基本設計 ・R6：実施設計・仮設校舎 ・R7～9：校舎・体育館改修 </p>		
8	矢板武没後100年記念各種イベント	500
<p>【目的】 郷土の偉人「矢板武」の功績を顕彰し、また、没後100年を記念し、各種イベントを開催する。</p> <p>【主な事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・特別企画展 夏秋冬に各1ヶ月程度 ・講演会(矢板家関係者) 秋 ・公演会(落語・朗読会、音楽等) ・ワークショップ ・イルミネーション 冬 </p>		

令和4年度 矢板市当初予算 主な新規事業

概算事業費(千円)

9	国民体育大会の推進	203,200
<p>【目的】 本年度開催予定の「いちご一会とちぎ国体」（第77回 国民体育大会）を推進するための各種整備等を実施する。</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画線設置・樹木剪定工事（市道幸岡塩田8号線）（4,000千円） ・舗装修繕工事（市道長井幸岡1号線ほか）（43,000千円） ・矢板運動公園整備（道路改修、陸上競技場駐車場整備、園路改修等）（60,000千円） ・とちぎ国体矢板市実行委員会推進事業交付金（78,800千円） など 		
10	文化スポーツ複合施設建設	765,800
<p>【目的】 矢板市文化会館、体育館等を複合化した施設をとちぎフットボールセンター内に整備する。</p> <p>【主な事業内容】（2か年継続事業のうち令和4年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事監理業務委託（9,900千円） ・工事請負費（755,000千円） <p>（今後の予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度入札、着工 ・令和5年度竣工予定 		

記者発表資料

令和4年1月21日（金）**発表**・提供

件名	小中学生GIGAスクールアンケート結果について		
<p>本市では、平成30年度に全教職員にタブレット端末を1人1台配備し、県内他市町に先駆け研修を重ねてまいりました。そして、令和2年9月には、県内でトップを切って市立全小中学校の児童生徒に1人1台タブレット端末を配備し、市小中学校全体での導入では全国初となる学校電子図書館など、ICT教育の推進に力を入れております。</p> <p>今回、矢板市立学校に通う小中学生を対象に実施したGIGAスクールアンケートの結果について、発表させていただきます。</p> <p>1 調査の目的</p> <p>本調査は、学校におけるタブレット端末の活用状況等について、本市の状況を調査・分析することにより、今後のICT活用及びICT環境整備に繋げていくものとする。</p> <p>2 調査の概要</p> <p>(1) 調査事項 タブレット端末を活用した学習状況</p> <p>(2) 調査対象 矢板市立小・中学校に所属する全児童生徒</p> <p>※提供資料の有無 有 (別添のとおり) ・無</p>			
担当課・担当名	教育総務課 学校教育担当		
担当者名	森本 聡		
電話番号	0287-43-6217	内線電話番号	463

令和3年度矢板市小中学生 GIGA スクールアンケート結果

令和4年1月

矢板市教育委員会

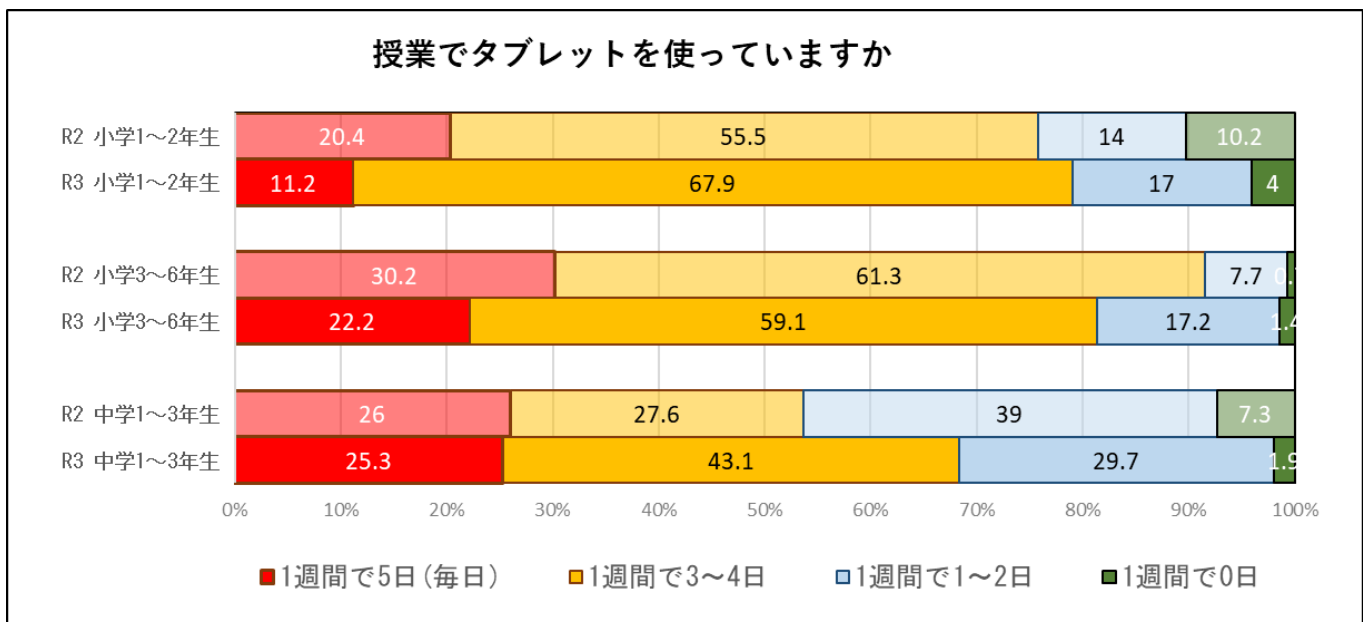
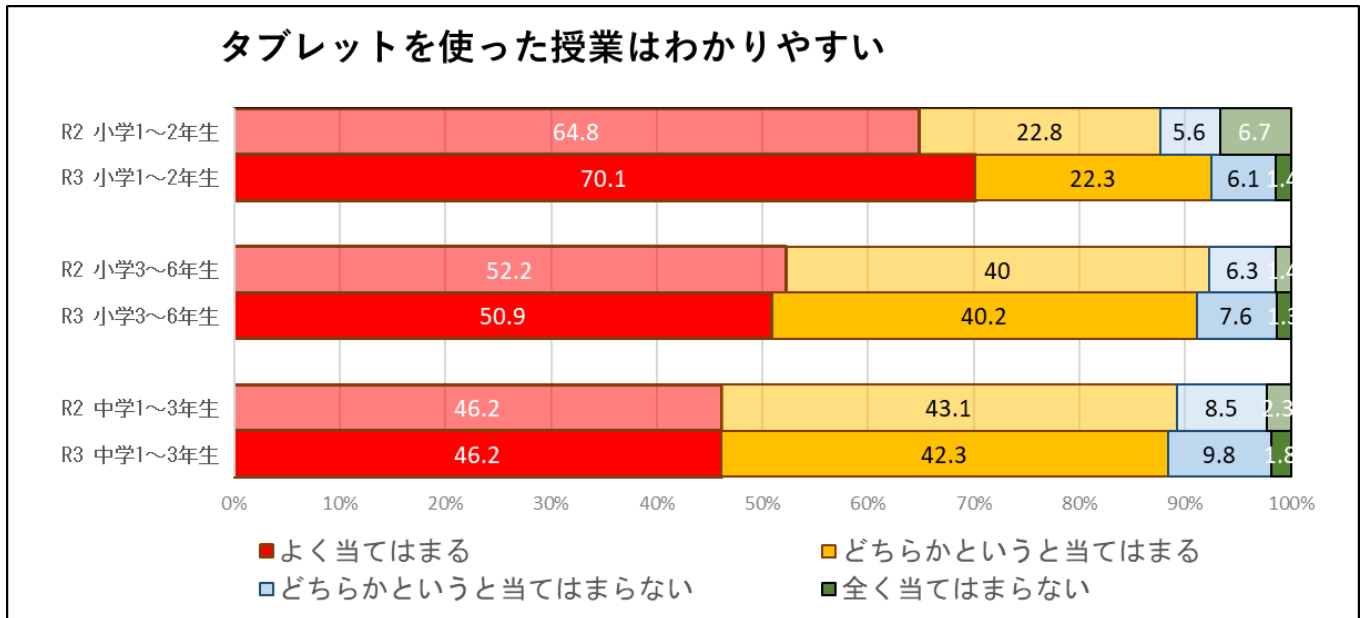
矢板市では、「A I型ドリル教材」や「協働学習ソフト」、「学校電子図書館」を中心として、授業や家庭学習（宿題）等で活用している。ICTを最大限に活用することで、全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図っている。

タブレット活用状況調査 ※調査対象；矢板市立小・中学校に所属する児童生徒

	令和2年度の活用状況	令和3年度の活用状況
回答数	1594名 小学1～2年生277名 小学3～6年生702名、 中学1～3年生615名	1518名 小学1～2年生278名、小学3～6年生621名、 中学1～3年生619名

授業での活用（タブレットを使った授業はわかりやすい）

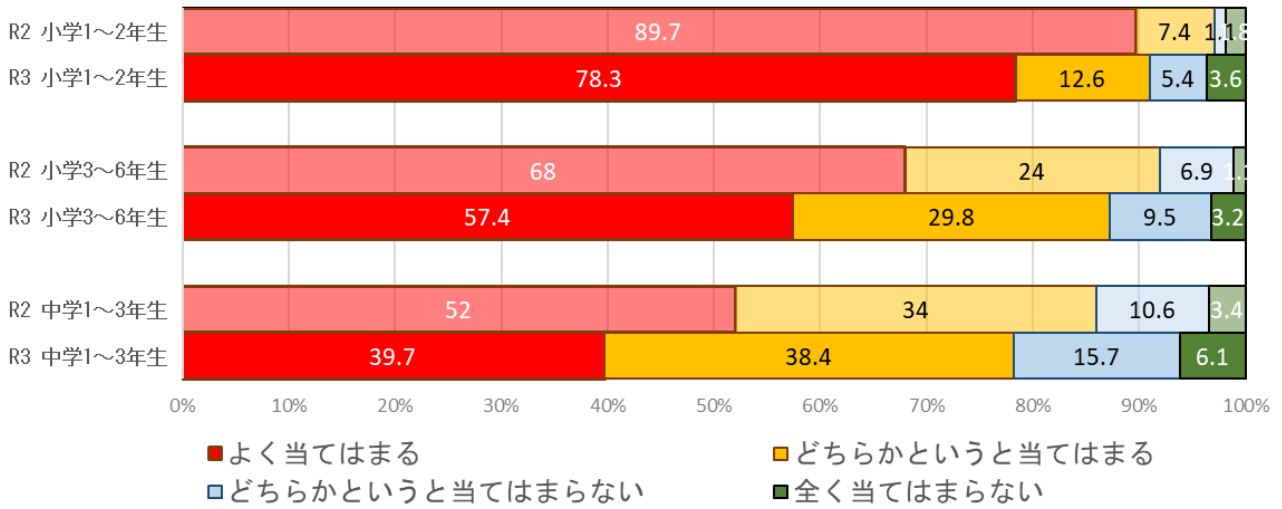
矢板市では、タブレット端末を授業や家庭学習（宿題）等で活用している。各教科の授業で活用することで、これまでよりも「わかる授業」につながっている。



今後のタブレット端末の活用

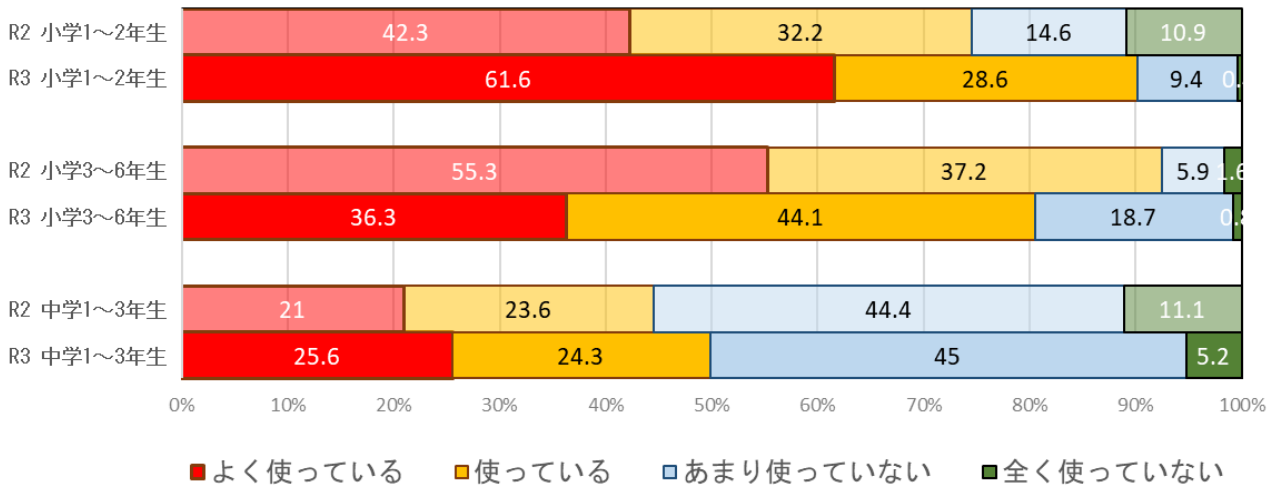
多くの児童生徒がタブレット端末を活用した授業を望んでいる。

授業でもっとタブレットを使いたい

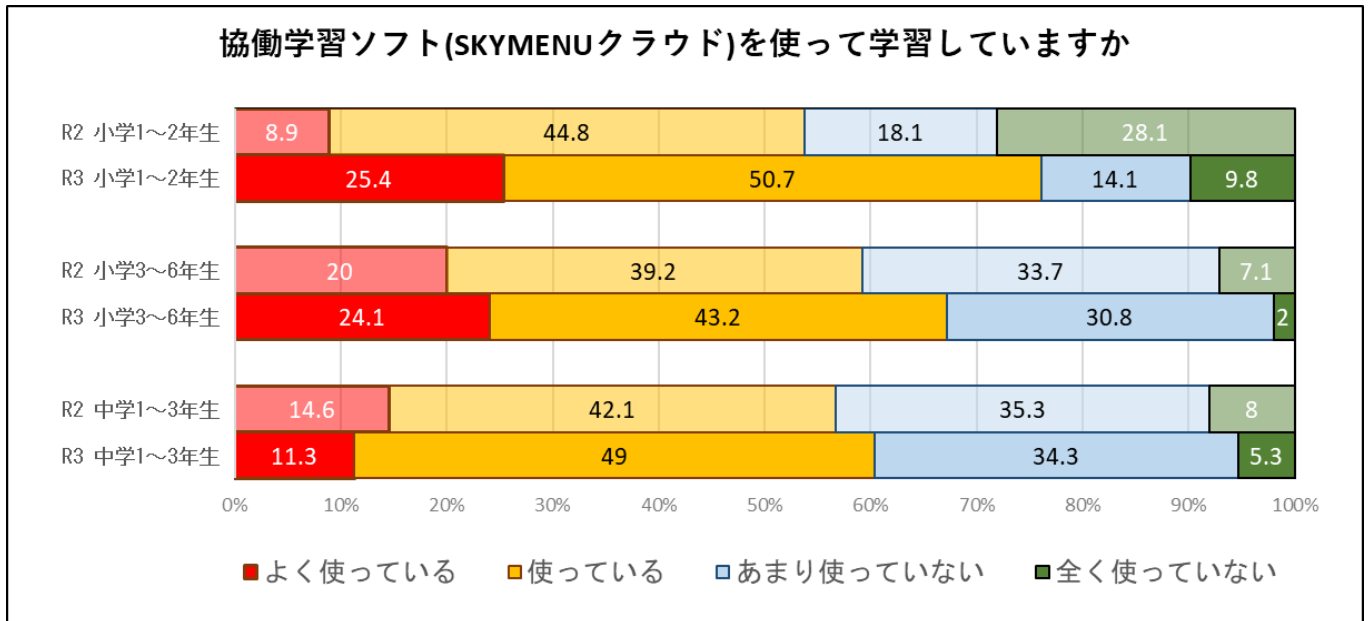


A I 型ドリルの活用状況

A I 型ドリルで学習をしていますか

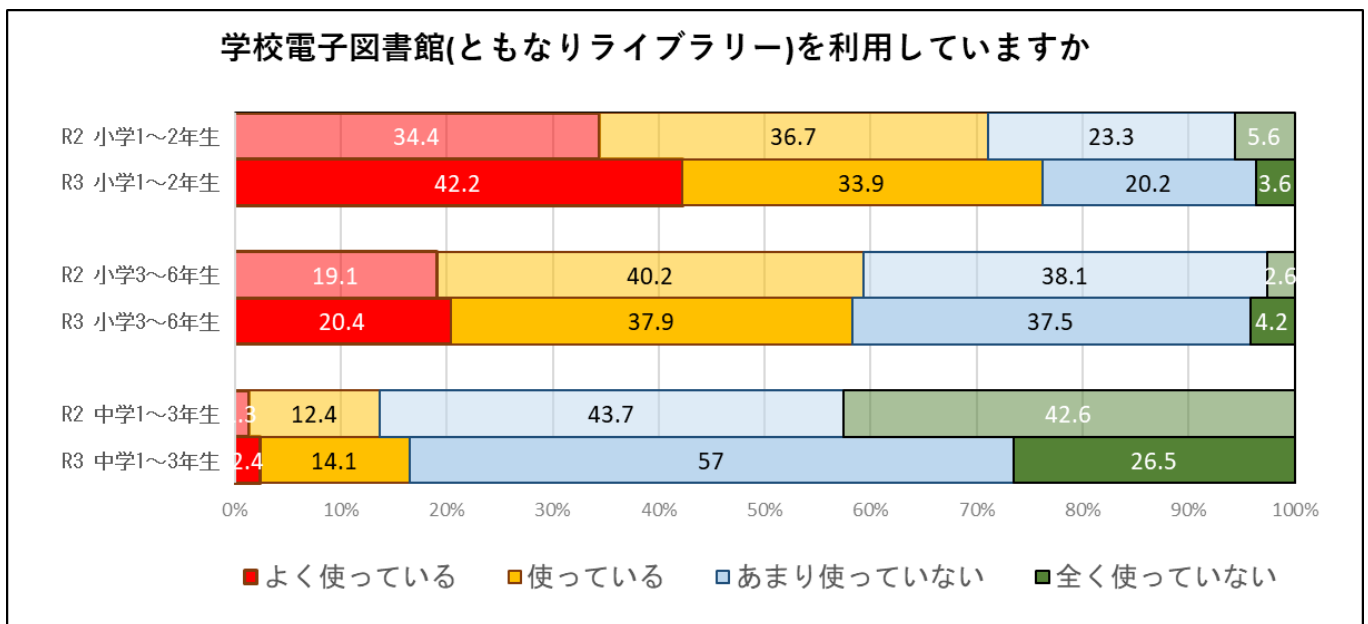


協働学習ソフトの活用状況



『ともなりライブラリー』の利用状況

小学校低学年の発達段階では、「タブレットの操作に慣れ親しむ」ことをねらいとし、学校電子図書館をよく利用している。



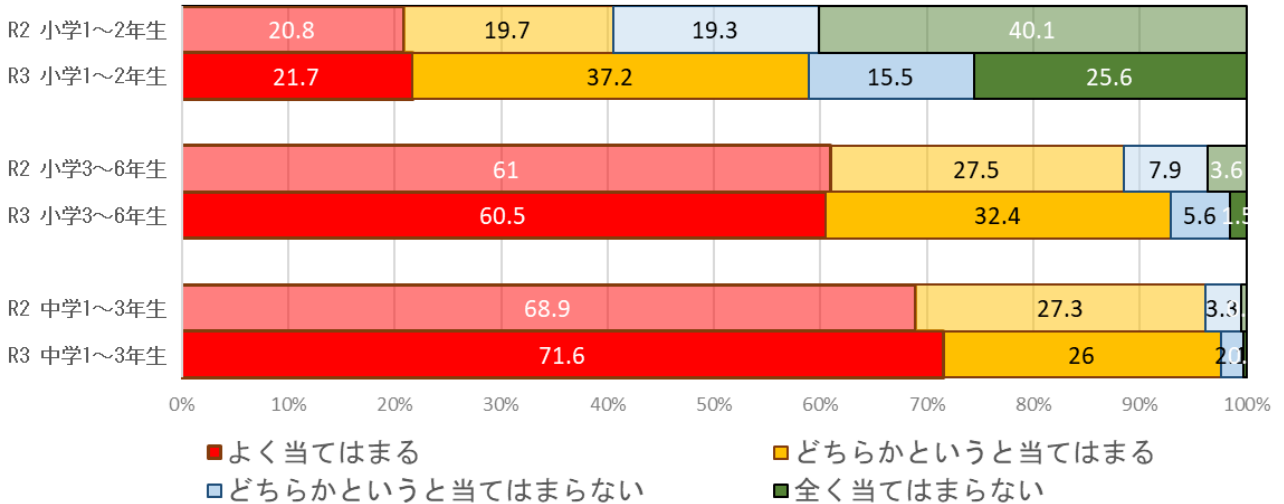
情報活用能力（基本的な操作）

矢板市 ICT活用調査研究員の意見

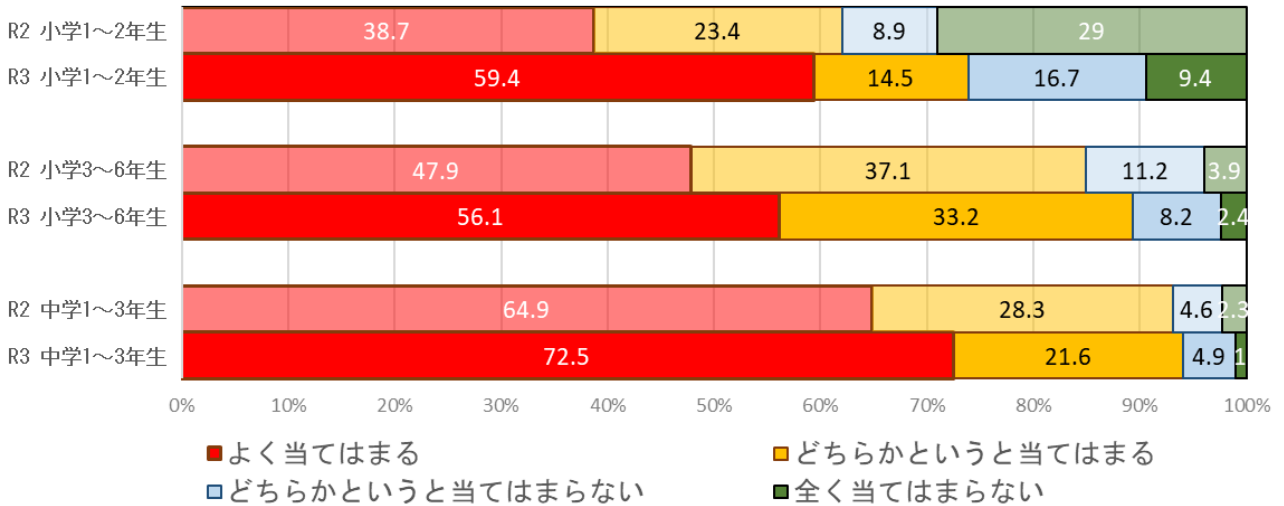
「今後、キーボードを用いた文字入力ができるかどうか、タブレットを活用できるかどうかに大きく影響を及ぼすと考えられる。

将来、入試でのタブレット活用、就職してからの文書作成等を考えると、義務教育段階でキーボードでの文字入力をはじめとした情報活用能力を子どもたちには高めて上げたい」

キーボードを使って文字の入力ができる

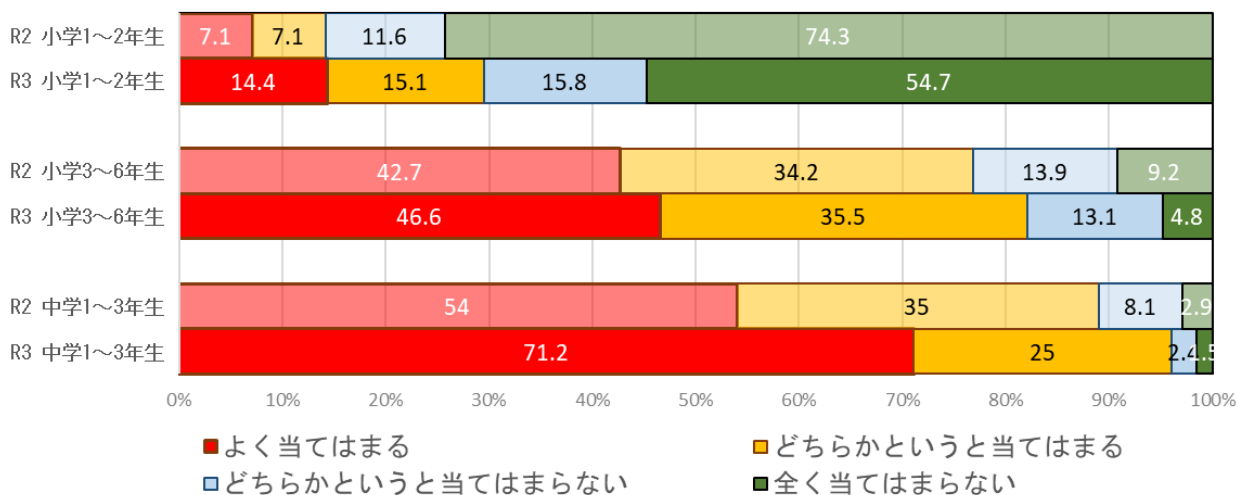


タブレットを使って写真や動画を撮ることができる

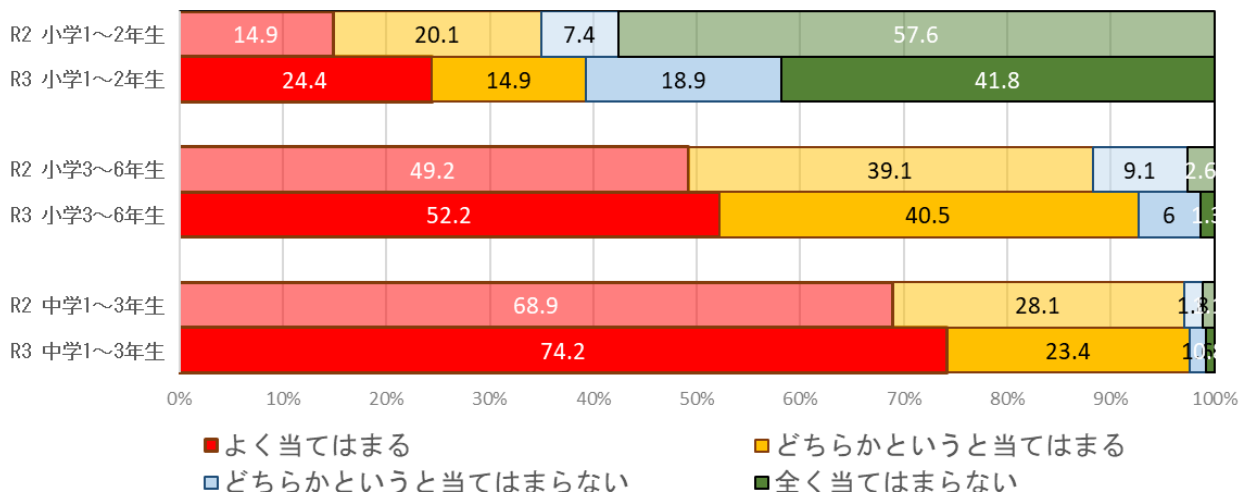


情報活用能力（問題解決・探求における情報活用）

タブレットを使って発表するためのスライドや資料を作成することができる



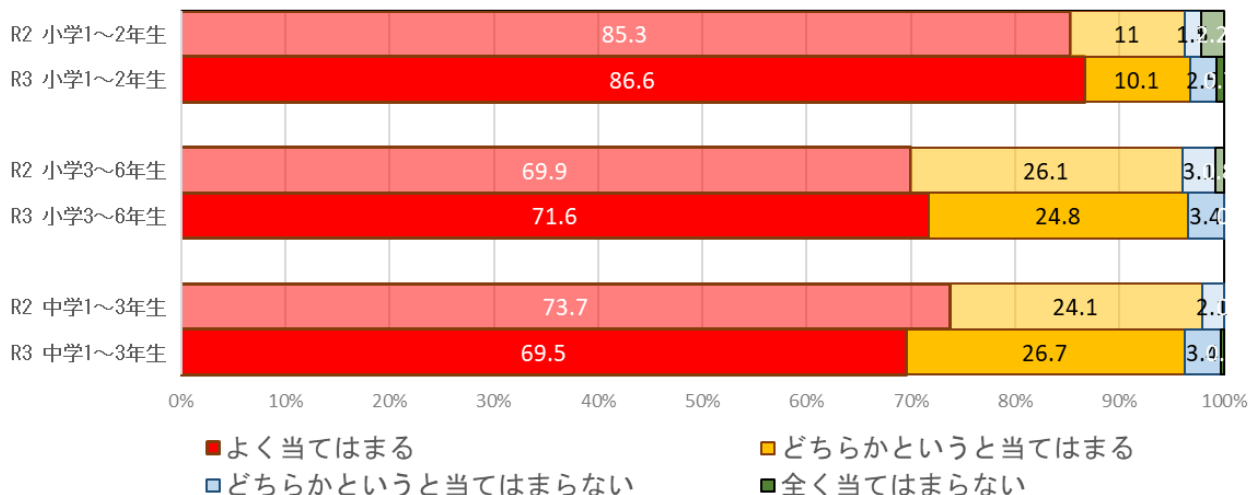
インターネットから目的に合った情報を探ることができる



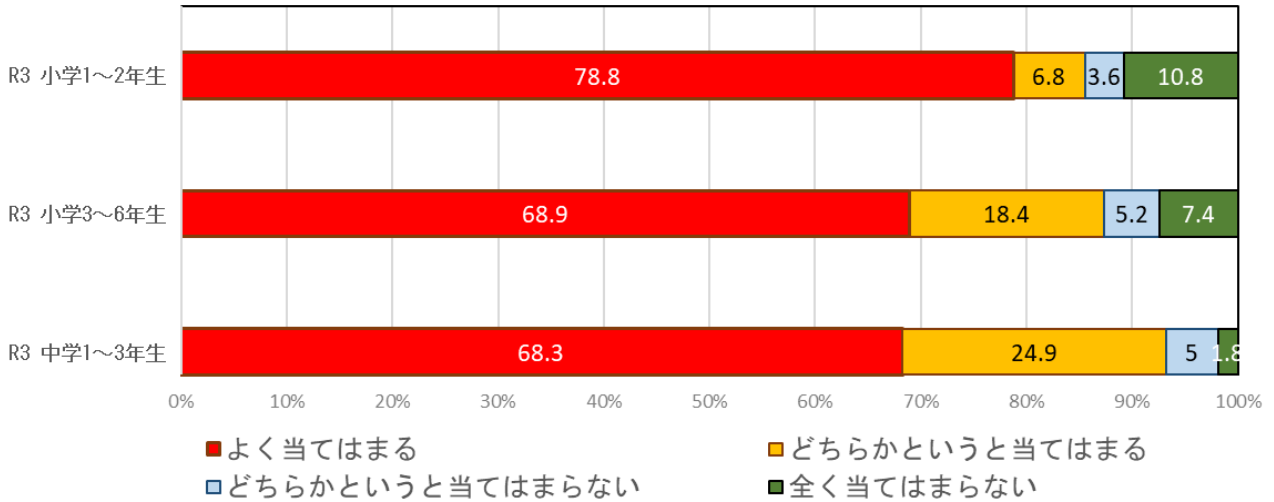
情報活用能力（情報モラル）

今後もネットワーク上のルールやマナーを守ることを意味について考えさせる必要がある。

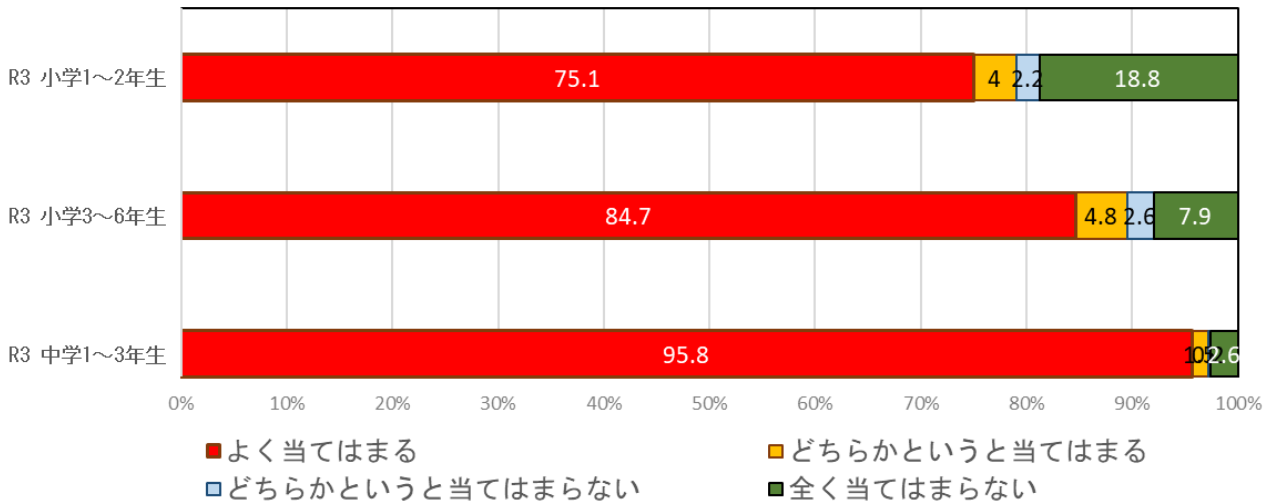
タブレット活用のルールを守っている



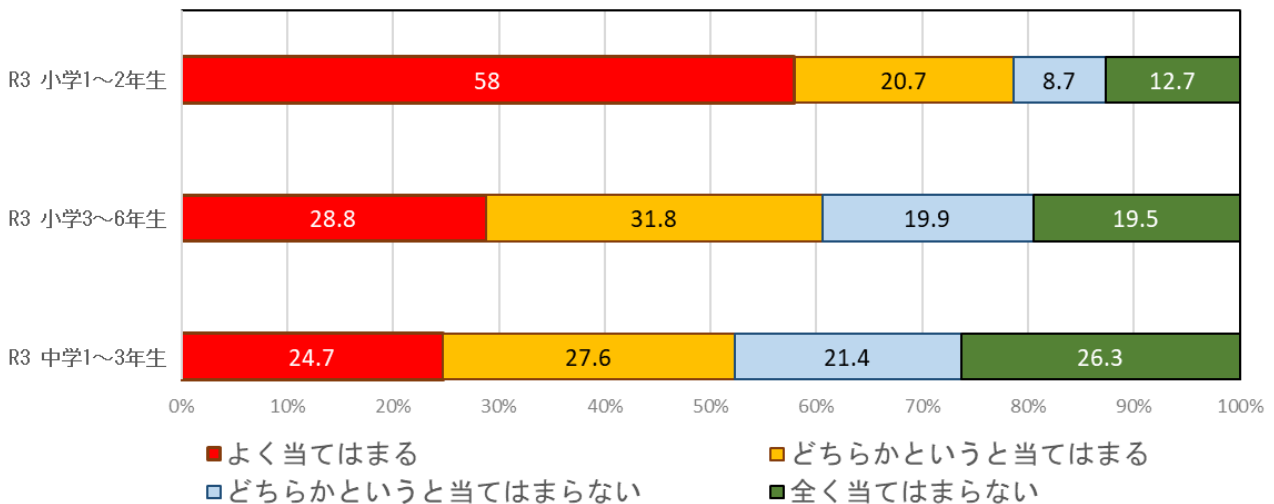
学習に関係のない動画を見たり、ゲームをしたり、学習に関係のないことに使わないようにしている



人を傷つけたり、嫌な思いをさせたりすることを書き込まないようにしている



家庭でタブレットを使う時間は、親子で話し合って決めている



記者発表資料

令和4年1月21日（金）発表・提供

件名	確定申告会場（泉・片岡公民館）でのマイナンバーカード出張申請受付について			
(説明文)				
泉公民館・片岡公民館での確定申告期間中に、来場者を対象としたマイナンバーカードの出張申請受付を行います。				
1 実施日時・会場等				
	実施日	時間	会場	備考
	令和4年2月16・17・18・21日	午前 8:30～11:00 午後 1:00～ 3:30	泉公民館	21日は午前のみ
	令和4年2月22・24・25・28日	午前 8:30～11:00 午後 1:00～ 3:30	片岡公民館	
2 内容				
上記期間に泉公民館・片岡公民館へ職員が出張し、申告前後の空き時間等を利用してマイナンバーカードの申請を受け付けます。出来上がったマイナンバーカードは、原則、ご本人へ郵送いたしますので、自宅での受け取りが可能です。				
3 申込方法・定員				
方法：開催日前日の午後5時までに市民課へ電話で予約ください。				
定員：各日、午前・午後とも15名程度（先着順）				
4 必要なもの				
本人確認書類（運転免許証等）、通知カード、住民基本台帳カード（お持ちの方のみ）				
※顔写真は必要ありません。市で用意したタブレットで撮影します。				
5 その他				
申請した方にクリアファイルやエコバッグをプレゼントします。				
泉地区・片岡地区には、別紙チラシを広報やいた2月号と併せて配布します。				
担当課・担当名	市民課市民・年金担当			
担当者名	荒井 一樹			
電話番号	0287 - 43 - 1117	内線電話番号	312	

確定申告のついでにマイナンバーカードの申請を！

市職員が泉公民館・片岡公民館に出張し、マイナンバーカードの申請を受け付けます。

まだ、マイナンバーカードをお持ちでない方は、確定申告の前後の時間を利用して、カードを申請してみませんか。

※確定申告以外の方も申し込みできます。

【メリット】

市役所に行かなくても申請できます。出来上がったカードは、後日、ご自宅に郵送します。

写真撮影は無料です（職員が申請会場で撮影します）。



1 実施日・時間・会場

実施日	受付地区及び受付時間		場所
	午前（8:30～11:00）	午後（1:00～3:30）	
令和4年 2月16日(水)	泉・田野原	上太田・東泉	泉公民館
2月17日(木)	長井	平野	
2月18日(金)	立足・下伊佐野・山田	上伊佐野	
2月21日(月)	下太田・土屋		
2月22日(火)	石関	大槻	片岡公民館
2月24日(木)	乙畑・玉田	乙畑・山苗代	
2月25日(金)	片岡	片岡	
2月28日(月)	安沢	越畑	

※ 原則、地区ごとの指定日時でお申し込みください。

2 申込方法

申請をご希望の方は、前日までに直接市民課へお電話で申し込みをお願いします。

電話番号（矢板市市民課）：43 - 1117（平日 8:30～17:00 まで）

裏面に続きます。よくお読みください。

矢板市市民課

3 申請に必要なもの

- (1)通知カード（紛失された方は当日その旨をお申し出ください。）
- (2)住民基本台帳カード（お持ちの方のみ）
- (3)本人確認書類（5をお読みください）

4 対象者（今回の出張申請を利用可能な方）

- (1)矢板市に住民登録があること。
- (2)申請日から少なくとも2カ月は転出（市外へ引っ越し）予定がないこと。
- (3)既にマイナンバーカードの申請を行っていないこと。
- (4)申請者本人（15歳未満の人及び成年被後見人の人は法定代理人とともに）が会場に来ることができること（代理人申請はできません。）。

5 本人確認書類（有効期限内のものをご用意ください。）

・1点で確認できるもの

運転免許証、顔写真付きの住民基本台帳カード、パスポート（旅券）、運転経歴証明書、身体障害者手帳、精神障害保健福祉手帳、療育手帳、在留カードなど

・2点必要なもの

健康保険証、介護保険証、年金手帳（証書）、母子手帳、各種医療費助成受給者証、学生証、児童扶養手当証書、特別児童扶養手当証書、生活保護受給者証など

6 その他

マイナンバーカードが出来上がるまで、1ヵ月程度を要します。カードは、後日、本人限定受取郵便でご自宅に郵送します（必要書類が揃っていない場合は、市役所での受取りになる場合があります）。

【お問い合わせ】

矢板市市民課 市民・年金担当 ☎ 43-1117



記者発表資料

令和4年 1月21日（金）発表・提供

件 名	(公財) 矢板市育英会 奨学生の募集について		
(説明文)	<p>公益財団法人矢板市育英会は、矢板市に住所を有する者が保護する学生・生徒で、高等学校、高等専門学校又は大学等に在学し、健全な心を有し、学業成績が優れながら経済的理由により修学困難な者に対する育英奨学事業を行っている。</p> <p>令和4年度の奨学生について、下記により募集を行います。</p>		
1 対象者	<p><給付事業> 高等専門学校、専修学校、短期大学、大学及び大学院に在学する学生・生徒及び進学希望者</p> <p><貸与事業> 高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学及び大学院に在学する学生・生徒及び進学希望者</p>		
2 内 容	<p><給付金額> 一時金として 200,000円 ※貸与事業との併用も可とする</p> <p><貸与金額> 高等学校、高等専門学校3学年まで 月額15,000円 専修学校、高等専門学校4、5学年まで 月額30,000円 短期大学、大学及び大学院 月額30,000円</p>		
3 募集人数	<p><給付奨学生> 5名</p> <p><貸与奨学生> 若干名</p>		
4 募集期間	令和4年2月7日（月）から令和4年3月18日（金）まで		
5 選考方法	志願者からの願書、所得証明書等、現在在学している学校長からの推薦調書を基に選考し決定する。		
6 申込・問合せ先	矢板市教育総務課内 公益財団法人矢板市育英会 事務局		
担当課・担当名	教育総務課 学校教育担当		
担当者名	前野 秀明		
電話番号	0287-43-6217	内線電話番号	463

令和4年度公益財団法人矢板市育英会奨学金 給付奨学生（採用候補者）募集要項

1 趣 旨

この奨学金給付事業は、健全な心を有し、学業成績に優れながら経済的理由により修学困難な人に学資を給付し、将来、社会に貢献し得る有用な人材を育成することを目的とするものです。

2 出願資格

矢板市に住所を有する人の子弟及びこれに準ずる人であって、次の諸条件を備えるとともに、奨学金により高等専門学校、専修学校（専門課程）、短期大学、大学及び大学院課程の修業を全うし得る見込みがある者。

- (1) 品行が正しく、学業成績が優れた者(成績評定5を満点としたとき4.0以上)、または、スポーツやその他特別な技能に優れ、目標をもち学習意欲を有する者。
- (2) 経済的理由により、修学が困難と認められる者。
- (3) 学校教育法に規定する、高等専門学校、専修学校（専門課程）、短期大学、大学及び大学院に在学する人及びこれらの学校に進学する者。
- (4) 本会以外の機関（国県市町、民間団体等）の奨学金等の給付を受けない者。
貸与型奨学金との併用は可とする。

3 給付額

高等専門学校第4学年・第5学年、専修学校（専門課程）、短期大学、大学及び大学院に在学する奨学生に給付する 一時金として**200,000円**奨学金

4 採用予定人員

高等専門学校第4学年・第5学年、専修学校（専門課程）、短期大学、大学及び大学院に在学する奨学生 **5 名**

5 出願手続

- (1) 奨学生を志願する人は、給付奨学生願書、世帯全員の住民税非課税証明書又は、所得証明書（令和2年中の所得がわかるもの。住民税決定証明書等でも可。）を添えて、現在の在学学校長を経由して提出してください。

なお、現在、大学等に在学している人は、給付奨学生願書、世帯全員の住民税非課税証明書又は、所得証明書（令和元年中の所得がわかるもの。住民税決定証明書等でも可。）、在学証明書を添えて、育英会事務局に提出してください。

注) 所得証明書は、次のように添付してください。

- ア 両親がいる世帯の場合 → 父と母2人の所得がわかるもの。
- イ 父母に代わる人が生計を支えている世帯の場合 → その人の所得がわかるもの。
- ウ 父子又は母子世帯の場合 → 父又は母の所得がわかるもの。

(2) 志願者の在学学校長は、給付奨学生推薦調書を矢板市教育委員会事務局教育部教育総務課内「矢板市育英会」に提出してください。

6 給付方法

奨学金は、給付奨学生に採用となる年度開始後3ヶ月以内に一括で交付します。

7 出願期間

令和4年2月7日（月）から令和4年3月18日（金）まで

8 奨学生の採用

矢板市育英会奨学生選考委員会において、応募者の人物並びに学業成績、家計等について審査を行い、適格度の高い順に選考のうえ、当育英会会長が給付奨学生を決定し、本人に通知します。採用にならなかった場合にも、その結果を通知します。

9 提出及び問い合わせ

〒329-2165

栃木県矢板市矢板106番地2

公益財団法人矢板市育英会事務局

(矢板市教育委員会事務局教育部教育総務課内)

TEL (0287) 43-6217

FAX (0287) 43-4432

矢板市育英会給付奨学生願書

フリガナ			男・女				
氏名			平成 年 月 日生(満 才)				
進学先学校 学科・学部名	国・公・私						
本籍地							
家族住所				電話			
				携帯			
本人住所				電話			
				携帯			
家族を 除く 家族	就学者を 除く 家族	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	
	構成者	就学者	続柄	氏名	年齢	設置者別	在学学校名又は進学予定校
					国・公・私		年
					国・公・私		年
					国・公・私		年
					国・公・私		年

併 願 状 況	<p>・他制度の奨学金（給付、返還免除）への出願状況について</p> <p>有 ・ 無 （どちらかに○）</p> <p>・本会、または他制度の奨学金貸与への出願状況について</p> <p>有 ・ 無 （どちらかに○）</p>
奨 学 金 給 付 希 望 理 由	<p>奨学金の給付を希望するに至った家庭状況やその他説明を要することを具体的に記入</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>以上のおり記載事項に相違ありません。</p> <p>貴会の給付奨学生として採用いただきたく、関係書類を添えて申し込みます。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>公益財団法人矢板市育英会会長 様</p> <p>本人 氏名 _____ ⑩</p> <p>保護者 住所 _____</p> <p>氏名 _____ ⑩ 本人との続柄</p>	

給付奨学生推薦調書

評定平均値		人物 総合判定	健康診断 就学判定	調書作成者
高校		イ ロ ハ	可 注 意 不 可	印

推薦所見

氏名			
在学 学校			
	全日制・定時制・通信制	学部	学科

上記の者は、貴会の給付奨学生として適当と認められますので推薦します。

令和 年 月 日

矢板市育英会会長 様

学校長 印

公益財団法人矢板市育英会 給付奨学生推薦基準

1 人物について

学習活動その他生活の全般を通じて態度、行動が学徒にふさわしく、将来矢板市で活躍したいと言う高い志しがあり、社会人として活動できる見込みがあること。

- (1) 「態度・行動が学徒にふさわしく」とは校内・校外の生活を通じて、規律を重んじ向学心にとみ、意志が固く、かつ道徳的悪傾向（虚偽・利己放恣・怠惰・無責任等）がないと認められることを意味する。
- (2) 人物については、担任教師等による面接所見、その他学校における諸記録等を参照して総合的に判定する。判定は次の3段階とする。
 - イ 特に人物がすぐれ奨学生として適格である人
 - ロ 人物の基準に合致し、奨学生として適格である人
 - ハ 給付奨学生として不適格である人

2 健康について

「健康診断」により、修学に十分耐えうる人と認められること。

「定期健康診断」の結果により推薦することができる人は、「健康診断」欄の可を○で囲むこと。それ以外の方は、医師の就学判定に基づき、「健康診断」欄の該当のものを○で囲むこと。

3 学力及び素質について

- (1) 学習成績の評定を、全履修教科について平均した値（5段階評価で少数第2位で四捨五入したもの。）を記入すること。（履修教科の評定は5：4：3：2：1の5段階法によらない評定については、5段階に換算し評定のこと。）
- (2) すぐれた知的素質を有し、進学後も優秀な学習成績を修める見込みがあること。または、スポーツやその他特別な技術に優れ、目標をもち学習意欲を有する者。

所得証明書

申請者

世帯主氏名 (印)
世帯主住所
申込者氏名

このたび矢板市育英会奨学生を申し込みますので、私の父母（母子・父子世帯の場合は、母又は父。父母に代わる人が家計を支えている場合は、これに該当する人）の所得について、下記事項の証明をお願いします。

申込者記入欄		市町村証明欄		年中の所得
申込者との続柄	氏名	総所得金額		配偶者控除・扶養控除した人員数
		給与所得	給与以外の所得	
父		円	円	人
母		円	円	人
父母以外の場合		円	円	人
		円	円	人
		円	円	人

上記のとおり証明します。

令和 4 年 月 日

市町村長

(印)

令和4年度公益財団法人矢板市育英会奨学金 貸与奨学生（採用候補者）募集要項

1 趣 旨

この奨学金貸与事業は、健全な心を有し、学業成績に優れながら経済的理由により修学困難な人に学資を貸与し、将来、社会に貢献し得る有用な人材を育成することを目的とするものです。

2 出願資格

矢板市に住所を有する人の子弟及びこれに準ずる人であって、次の諸条件を備えるとともに、奨学金があれば高等学校、高等専門学校、専修学校（一般課程を除く）、短期大学、大学及び大学院課程の修業を全うし得る見込みがある者。

- (1) 品行が正しく、学業成績が優れた者(成績評定5を満点としたとき3.0以上)。
- (2) 経済的理由により、修学が困難と認められる者。
- (3) 学校教育法に規定する、高等学校、高等専門学校、専修学校(一般課程を除く)、短期大学、大学及び大学院に在学する人及びこれらの学校に進学する者。
- (4) 本会以外の機関(国縣市町、民間団体等)の奨学金等の給付又は貸与を受けない者。ただし、交通遺児育英奨学金については、重複して貸与を受けることが可能です。

3 貸与額

- | | |
|--|-------------|
| (1) 高等学校に在学する奨学生に貸与する奨学金 | 月額 15,000 円 |
| (2) 高等専門学校第1学年から第3学年及び専修学校(高等課程)に在学する奨学生に貸与する奨学金 | 月額 15,000 円 |
| (3) 高等専門学校第4学年・第5学年及び専修学校(専門課程)、短期大学に在学する奨学生に貸与する奨学金 | 月額 30,000 円 |
| (4) 大学及び大学院に在学する奨学生に貸与する奨学金 | 月額 30,000 円 |

4 採用予定人員

- | | |
|---|-----|
| (1) 高等学校及び高等専門学校第1学年から第3学年、専修学校(高等課程)に在学する奨学生 | 若干名 |
| (2) 高等専門学校第4学年・第5学年、専修学校(専門課程)、短期大学、大学及び大学院に在学する奨学生 | 若干名 |

5 出願手続

- (1) 奨学生を志願する人は、連帯保証人2名(2名のうち1名については、本人が未成年の場合はその保護者、成年の場合は父母兄弟又はこれに準ずる人)と連署した奨学生願書、所得証明書(令和2年中の所得がわかるもの。住民税決定証明書等でも可。)を添えて、現在の在学学校長を経由して提出してください。

なお、現在、大学等に在学している人は、奨学生願書、所得証明書(令和元年中の所得がわかるもの。住民税決定証明書等でも可。)、在学証明書を添えて、育英会事務局に提出してください。

注) 所得証明書は、次のように添付してください。

ア 両親がいる世帯の場合 → 父と母2人の所得がわかるもの。

イ 父母に代わる人が生計を支えている世帯の場合 → その人の所得がわかるもの。

ウ 父子又は母子世帯の場合 → 父又は母の所得がわかるもの。

- (2) 志願者の在学学校長は、奨学生推薦調書を矢板市教育委員会事務局教育部教育総務課内「矢板市育英会」に提出してください。

6 貸与期間

奨学金は奨学生に採用した月から、奨学生の在学する学校の正規の修了月までの期間貸与します。

7 返還

(1) 返還期間 卒業後1ヶ年の据置期間後、貸与した期間の3倍の期間内

(2) 返還方法 年賦又は半年賦による均等払（奨学金は無利子とする。）

8 出願期間

令和4年2月7日（月）から令和4年3月18日（金）まで

9 奨学生の採用

矢板市育英会奨学生選考委員会において、応募者の人物並びに学業成績、家計等について審査を行い、適格度の高い順に選考のうえ、当育英会会長が奨学生を決定し、本人に通知します。採用にならなかった場合にも、その結果を通知します。

10 提出及び問い合わせ

〒329-2165

栃木県矢板市矢板106番地2

公益財団法人矢板市育英会事務局

(矢板市教育委員会事務局教育部教育総務課内)

TEL (0287) 43-6217

FAX (0287) 43-4432

矢板市育英会貸与奨学生願書

フリガナ			男・女				
氏名			平成 年 月 日生(満 才)				
進学先学校 学科・学部名	国・公・私						
本籍地							
家族住所				電話			
				携帯			
本人住所				電話			
				携帯			
家族構成	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	
	就学者	続柄	氏名	年齢	設置者別	在学学校名又は進学予定校	学年 (令和4年度)
				国・公・私		年	
				国・公・私		年	
				国・公・私		年	
				国・公・私		年	

奨 学 金 希 望 理 由	奨学金の貸与を希望するに至った家庭状況やその他説明を要することを具体的に記入

以上のおり記載事項に相違ありません。

貴会の奨学生として採用いただきたく、関係書類を添えて申し込みます。

令和 年 月 日

公益財団法人矢板市育英会会長 様

本人 氏名 _____ (印)

連帯保証人 (保護者) 住所 _____
 氏名 _____ (印) 本人との続柄

連帯保証人 住所 _____
 氏名 _____ (印) 本人との続柄

貸 与 奨 学 生 推 薦 調 書

評定平均値		人 物 総 合 判 定	健 康 診 断 就 学 判 定	調 書 作 成 者
中 学 校		イ ロ ハ	可 注 意 不 可	
高 校				

㊞

推 薦 所 見

氏 名			
在 学 校			
	全 日 制 ・ 定 時 制 ・ 通 信 制	学 部	学 科

上記の者は、貴会の奨学生として適当と認められますので推薦します。

令和 年 月 日

矢板市育英会会長 様

学校長 ㊞

公益財団法人矢板市育英会奨学金貸与奨学生推薦基準

1 人物について

学習活動その他生活の全般を通じて態度、行動が学徒にふさわしく、将来良識ある社会人として活動できる見込みがあること。

- (1) 「態度・行動が学徒にふさわしく」とは校内・校外の生活を通じて、規律を重んじ向学心にとみ、意志が固く、かつ道徳的悪傾向（虚偽・利己放恣・怠惰・無責任等）がないと認められることを意味する。
- (2) 「良識ある社会人」とは、一般的な意味のほかに、奨学金返還についても十分な責任感があると認められる人を意味する。
- (3) 人物については、担任教師等による面接所見、その他学校における諸記録等を参照して総合的に判定する。判定は次の3段階とする。
 - イ 特に人物がすぐれ奨学生として適格である人
 - ロ 人物の基準に合致し、奨学生として適格である人
 - ハ 奨学生として不適格である人

2 健康について

「健康診断」により、修学に十分耐えうる人と認められること。

「定期健康診断」の結果により推薦することができる人は、「健康診断」欄の可を○で囲むこと。それ以外の方は、医師の就学判定に基づき、「健康診断」欄の該当のものを○で囲むこと。

3 学力及び素質について

- (1) 学習成績の評定を、全履修教科について平均した値（5段階評価で少数第2位で四捨五入したもの。）を記入すること。（履修教科の評定は5：4：3：2：1の5段階法によらない評定については、5段階に換算し評定のこと。）
- (2) すぐれた知的素質を有し、進学後も優秀な学習成績を修める見込みがあること。

所得証明書

申請者

世帯主氏名 (印)
世帯主住所
申込者氏名

このたび矢板市育英会奨学生を申し込みますので、私の父母（母子・父子世帯の場合は、母又は父。父母に代わる人が家計を支えている場合は、これに該当する人）の所得について、下記事項の証明をお願いします。

申込者記入欄		市町村証明欄		年中の所得
申込者との続柄	氏名	総所得金額		配偶者控除・扶養控除した人員数
		給与所得	給与以外の所得	
父		円	円	人
母		円	円	人
父母以外の場合		円	円	人
		円	円	人
		円	円	人

上記のとおり証明します。

令和 4 年 月 日

市町村長

(印)

記者発表資料

令和4年1月21日（金）発表・提供

件名	いちご狩り体験の実施について		
(説明文)	<p>矢板市境林にある「やいた里山いちご園」が、地元小学校児童を招待し、いちご狩り体験を行う。</p> <p>1 日時 令和4年1月31日（月） 午前9時20分から9時50分</p> <p>2 場所 やいた里山いちご園（矢板市境林5319）</p> <p>3 趣旨 「やいた里山いちご園」が、地域貢献の一環として、地元の川崎小学校の6学年児童をいちご狩りに招待し、卒業前の思い出作りの場を提供する。</p> <p>4 対象児童 川崎小学校6学年児童</p> <p>5 備考 川崎小学校は令和4年度末に閉校を予定しているため、次年度は全児童を対象にして実施を予定している。</p>		
担当課・グループ	教育総務課 学校教育担当		
担当者名	白石 宗矩		
電話番号	0287-43-6217	内線電話番号	463

記者発表資料

令和 4 年 1 月 21 日（金）発表・提供

件 名	「いちご一会とちぎ国体開催記念イベント「ガールズウォーキングサッカー体験会」 in リアンビレッジ矢板」の開催について		
(説明文)	<p>第 7 7 回国民体育大会いちご一会とちぎ国体開催を記念するとともに、矢板市で開催するサッカー競技を広く知ってもらうために、サッカー初心者の方でも取り組みやすい「ウォーキングサッカー」の体験会を実施します。</p> <p>【ウォーキングサッカーとは】</p> <p>・歩いて行うサッカーで、走らないことにより身体に強い負担・負荷をかけずに 行う為、運動強度も少なく、誰でも気軽に楽しむことができるスポーツです。</p> <p>【イベント内容】</p> <p>1 目 的 体験会として実施することで、サッカー競技（少年女子）の興味関心 （趣旨）の向上と、国体への機運醸成を図る。</p> <p>2 日 時 令和 4 年 2 月 20 日（日）8 時 30 分（受付開始） 9 時開会式～12 時終了（予定）</p> <p>3 場 所 リアンビレッジ矢板（とちぎフットボールセンター）</p> <p>4 対象者 小学生以上の女子。定員 50 名</p> <p>5 参加費 無料</p> <p>6 主 催 いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会</p> <p>7 主 管 NPO 法人たかはら那須スポーツクラブ</p> <p>8 協 力 矢板市サッカー協会、ヴェルフェ矢板レディース</p> <p>9 申込方法 市国体・スポーツ局窓口や電話、ファックス又はメール等で受付 しております。（別添チラシ有）</p> <p>※ 申込の際は、参加者氏名、年齢、住所、電話番号をお伝えください。 中学生以下の場合は保護者氏名もお伝えください。</p> <p>※提供資料の有無：<input checked="" type="checkbox"/>（別添のとおり）・無</p>		
担 当 課 ・ 担 当 名	国体・スポーツ局 国体推進担当		
担 当 者 名	大谷津 崇人		
電 話 番 号	0287-43-6218	内線電話番号	471,473

いちご一会とちぎ国体開催記念イベント

ガールズウォーキング サッカー体験会

in リアンビレッジ矢板 (とちぎフットボールセンター)

2022年のいちご一会とちぎ国体で、サッカー競技(少年女子)が本市を会場に実施することから、初心者向けの体験会を開催します。サッカーに興味のある方はぜひご参加ください。



ウォーキングサッカーとは?

歩いて行うサッカーで、走らないことにより身体に強い負担・負荷をかけずに行う為、誰でも気軽に楽しむことができるスポーツです。

令和4年2月20日(日) 8:30~ 受付開始



小学生以上の女子

参加費
無料

先着
50名まで

【主催】いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会

【主管】NPO 法人たかはら那須スポーツクラブ 【協力】矢板市サッカー協会、ヴェルフェ矢板レディース

申込み・問い合わせ先 **いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会**

〒329-2165 矢板市矢板106-2 市生涯学習館内 ☎0287-43-6218 FAX/0287-43-4436 Email/sports@city.yaita.tochigi.jp

ガールズウォーキングサッカー体験会 概要

【日時】 令和4年2月20日(日) 9:00～12:00(受付8:30～) 雨天中止

【会場】 リアンビレッジ矢板(とちぎフットボールセンター) 矢板市末広町49-2

【交通案内】 交通機関 JR宇都宮線「矢板駅」下車 東口より徒歩約5分

【駐車場】 有 約200台収容可能

【対象】 小学生以上の女子(未経験者・経験者問わず)

【参加費】 無料 ※先着50名までとさせていただきます。

【申込期間】 令和4年1月4日(火)～令和4年2月10日(木)

【申込方法】 国体・スポーツ局窓口にて下記の申込書を切り取って提出してください。
E-mail・ファックス・電話での申し込みもできます。

【E-mailでの申込みの場合】 件名を「ガールズウォーキングサッカー申込み」としていただき、「sports@city.yaita.tochigi.jp」からのメールを受信できるようにしてください。

【申込先】 いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会
(お問い合わせ)〒329-2165 矢板市矢板106番地2 いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会

- 注意事項●
 - 飲み物等は各自でご用意下さい。
 - 台風など悪天候等により参加者の安全が十分確保できないと判断した場合、体験会を中止させていただく場合がございます。
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の恐れがある場合も体験会を中止とさせていただきます。
- 留意事項●
 - 体験会中の映像、写真、記録等は報告書・HP等に利用することがあります。写真は今後の国体関連の広報に記載されることがあります。
 - 申込書に記入いただいた個人情報は体験会運営以外には使用いたしません。

当日の体験会内容スケジュール

内容は変更となる場合があります。

8:30 ～9:00	9:00	9:30～10:00	10:00～10:30	10:30 ～11:45	11:45～
当日受付	開会式	準備運動、 アイスブレイク等	チーム内での 簡単な練習	試合形式	解散

サッカーボールはレンタル
いたします。(少年用4号球)

動きやすい服装、
運動靴でお越しください。

更衣室はクラブハウス内、
トイレはクラブハウス裏側から利用できます。



いちご一会とちぎ国体
第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

いちご一会とちぎ大会
第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022



いちご一会とちぎ国体矢板市 HP <<https://www.city.yaita.tochigi.jp/site/tochigikokutai2022yaita/>>

きりとり線 ✂

参加申込書

切り取って矢板市生涯学習館内(〒329-2165 矢板市矢板106-2)へお持ちください。
FAXの場合は0287-43-4436へ送信してください。お電話での受付(0287-43-6218)も可能です。
E-mailの場合は件名を「ガールズウォーキングサッカー申込み」としてください。(sports@city.yaita.tochigi.jp)

ふりがな 氏名	年れい 歳	住所
電話番号	保護者 氏名	
備考 ※2名以上の申込の場合、申込者以外の参加者の氏名を記入してください		
1 ふりがな	年れい 歳	2 ふりがな
		年れい 歳
3 ふりがな	年れい 歳	
		年れい 歳
4 ふりがな	年れい 歳	5 ふりがな
		年れい 歳
6 ふりがな	年れい 歳	
		年れい 歳